

図表2-2-7 ▶ 「Lemino」利用料金・提供コンテンツなど

ご利用料金および提供コンテンツなど※3			
Lemino 提供方法	ご利用料金	提供コンテンツ	提供機能
広告付き 無料配信	無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>注目度の高いスポーツ中継や音楽ライブなどの独占生配信</li> <li>各ジャンルにおける話題性の高い独占配信 作品の最新エピソード</li> <li>オリジナル作品（一部/話数限定）</li> </ul>	フォロワー同士がつながることで、コンテンツを見つけやすく、コンテンツをより楽しめる機能 <ul style="list-style-type: none"> <li>「エモートライン」機能</li> </ul>
Lemino プレミアム	月額 990円 (税込み)	<ul style="list-style-type: none"> <li>約180,000本の豊富なコンテンツ</li> <li>スポーツ中継や音楽ライブなどのアーカイブ 配信や特典映像</li> <li>独占配信作品やオリジナル作品（全話）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「レビュー」機能</li> <li>「マイチャプター」機能※1</li> <li>「感情検索」機能</li> </ul>

・一部のレンタルやPPV（ペイパービュー）などのコンテンツについては、これまでの「dTV」と同様、個別課金でお楽しみいただけます。  
 ・「Leminoプレミアム」について、初めてご契約いただくお客さまは初月無料でご利用いただけます。（「dTV」で初月無料の特典を受けられた方は、「Leminoプレミアム」の初月無料の対象となります。）

出所：NTTドコモ「感情やレビューをシェアすることでフォロワー同士がつながり、観たいコンテンツがすぐに見つかる映像配信メディア『Lemino』の提供を開始（2023年3月29日更新）」（2023年3月6日）

の景品に交換できるサービスを提供。2022年9月にはフレイル推定AI機能や見守り機能を追加し、オンライン診療アプリ「CLINICS」や遠隔食事指導サービス「Mealthy」と連携することで地域活性化と住民の健康増進を同時にめざしている。

映像配信分野においては、2022年に「ひかりTV」の提供を開始（図表2-2-6）。NTTがららの事業統合により、光回線を利用した豊富な専門チャンネルやビデオオンデマンド、地デジ・BSなどを視聴できる映像サービスをドコモブランドで提供し始めている。

また2017年2月15日から「DAZN for docomo」をスタートし、Jリーグや海外サッカー、プロ野球、F1など多彩なスポーツをスマートフォンやタブレット、PC、テレビなどで視聴可能とし、リアルタイム観戦及びオンデマンド視聴サービスを提供している<sup>2</sup>。

さらに「dTV」をリニューアルし、2023年4月から新たに「Lemino」を投入した（図表2-2-7、8）。感情やレビューの投稿・シェア機能を拡充し、作品に対する視聴レビューやシーンごとのコメントを「エモートライン」「レビュー」「マイチャプター」などで共有。有料の「Lemino プレミアム」に加え、広告付き無料配信や作品レンタル（PPV）という形態も設けている。

ディズニーとの協業としては、2019年3月26日から「Disney DELUXE」を始め、ディズニー、ピクサー、スターウォーズ、マーベルの作品をまとめて見放題とする国内初の公式サービスを展開した。その後2020年6月の「Disney+」国内ローンチにあたっては独占提供を担っている。さらに2021年10月からはサービス内容を拡充し「スター」ブランドを追加するなど、サービス内容の拡充を進めている。

2 2023年2月14日以降の入会者が対象。2017年2月15日～2022年4月17日入会者は3,000円、2022年4月18日～2023年2月13日入会者は3,150円。

図表2-2-8 ▶ 「エモートライン」と「感情検索」イメージ



出所：NTTドコモ「感情やレビューをシェアすることでフォロワー同士がつながり、観たいコンテンツがすぐに見つかる映像配信メディア『Lemino』の提供を開始（2023年3月29日更新）」（2023年3月6日）

2024年4月からはアマゾンジャパンとの協業を開始し、Amazon.co.jpでdポイントを貯めたり使ったりできるようにしたほか、ドコモ回線契約者向けにAmazonプライムの月間プランを登録するとdポイントを毎月120ポイント還元するなどの特典を設定し、Amazonプライムと「ドコモのギガプラン」などを組み合わせることで決済利便性を高める戦略を展開している。

XR分野では、2022年10月に株式会社NTTコノキューをドコモ傘下に設立して事業を開始した。社名に込められた「Quest Over Network」の意味のとおり、ネットワーク技術を活用してメタバースやデジタルツイン、XRデバイスなど3領域で革新的なサービスの創出をめざす。2025年4月に開幕した大阪・関西万博では、オンライン空間上に3Dで再現した夢洲会場を使い、ARやVRを活用し